

京都高等工藝學校校歌

池田義東作詞
田中正平作曲



京都高等工藝學校校歌

(一九〇五〜一九三〇)

池田義東作詞
田中正平作曲

一、比叡の山を背において
加茂の流れに臨みたる
神楽が丘の麓辺に
造り建てたる我が校は
たくみの業の源ぞ
匠の業の源ぞ

二、行くえに雲も迷うちよう
椰子の木蔭に佇めば
昔の影もそのままに
汲みて流るるナイル河
工芸美術幾千歳
工芸美術幾ちとせ

三、我が日の本の建国の
しるしの神器世々をへて
世界の光輝くも
またこの業によるぞかし
尽せや尽せ君の為
つくせやつくせ君の

四、夫れ工芸は国の富
されば花さく春の日も
月すむ秋の夜すがらも
つとめやつとめ絶間なく
うつ黒繩の一と筋に
うつすみなわの一と筋に